

表 令和8年1月の火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報の発表履歴

火山名	特別警報、警報及び予報の状況	発表した火山現象に関する特別警報・警報・予報・情報等		概要
桜島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル3、 入山規制)	解説情報 第1～9号	2日、5日、7日、9日、12日、14日、16日、19日、21日 16時00分 23日 16時10分 26日、30日 16時00分	南岳山頂火口で噴火活動継続。爆発なし、噴火、噴煙、火映の状況。昭和火口では噴火及び火映はない。 火山性地震は概ね少ない。火山性微動は断続的。 火山ガス(二酸化硫黄)放出量は2800[t/日](1/8)で多い。21日に現地調査、引続き地熱域を確認。 GNSS観測で、始良カルデラ(鹿児島湾奥部)を挟む基線で地下深部の膨張を示す長期の緩やかな伸びがみられる。 始良カルデラ深部にマグマが蓄積した状態、火山ガスも概ね多いことから、今後も噴火活動が継続すると考えられ、今後の火山情報に注意。
		降灰予報(速報)	(今期間発表なし)	噴火発生から1時間以内に予想される、降灰量分布や小さな噴石の落下範囲。
		降灰予報(詳細)	16日 16時49分 17時58分	噴火発生から6時間先まで(1時間ごと)に予想される降灰量分布、降灰開始時刻。
雌阿寒岳	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第1～5号	2日、9日、16日、23日、30日 16時00分	ボンマチネシリ96-1火口の噴煙は引き続き活発な状態。9月12日の火山性微動以降、ボンマチネシリ火口方向が上がる傾斜変動が観測され、火口浅部が膨張した状態が継続。ボンマチネシリ火口付近の火山性地震は、12月以降概ね少ない中で増減を繰り返して推移している。
岩手山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第1～5号	2日、9日、16日、23日、30日 16時00分	黒倉山付近の微小な火山性地震は少ない。 2024年2月以降、東岩手山のやや深部の開口割れ目や山体西側のやや深部の膨張を示す地殻変動が観測され、その変動は鈍化しつつ緩やかに継続していたが、2025年10月以降、開口割れ目の膨張と考えられる変動量が増加し、2024年8月頃からの大地獄谷付近のごく浅部の膨張を示唆する変動も継続している可能性がある。 引き続き、西岩手山(大地獄谷・黒倉山から姥倉山)の想定火口から概ね2km範囲に影響する噴火の可能性はある。
草津白根山 (白根山(湯釜 付近))	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第1～13号	2日、5日、7日、9日、12日、14日、16日、19日、21日、23日、26日、28日、30日 16時00分	火山性地震の日回数が0～3回で継続。 地下浅部の膨張を示す緩やかな地殻変動や地下の温度上昇を示唆する全磁力の変化は、鈍化しながらも継続。また噴気の化学成分比には活発化を示す変化が継続。 火山活動が高まった状態が継続し、湯釜火口から概ね1km範囲に影響する噴火の可能性はある。
浅間山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第1～9号	2日、5日、9日、12日、16日、19日、23日、26日、30日 16時00分	火山性地震は、2024年4月中旬以降増加した状態から、2025年7月頃から減少傾向がみられる。山体西側での膨張と考えられる傾斜変動は2024年5月以降停滞。火山ガス(二酸化硫黄)放出量は90～200[t/日](1/5, 14, 20, 30)、2023年3月以前に比べ多いが、2025年6月頃からやや減少。 山頂火口から概ね2km範囲に影響する噴火の可能性はある。

令和8年1月 地震・火山月報（防災編）

火山名	特別警報、警報及び予報の状況	発表した火山現象に関する特別警報・警報・予報・情報等	概要	
焼岳	噴火予報 (噴火警戒レベル1、活火山であることに留意)	噴火予報	2025年4月18日(期間外)が継続	
	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、火口周辺規制)	火口周辺警報	25日 05時50分 山頂直下で火山性地震が増加。山体浅部の膨張を示す傾斜変動がみられる。想定火口域から概ね1km範囲に影響する噴火の可能性がある。	
		解説情報 第1～8号	25日 06時20分 25日 16時00分 26日 16時20分 27～31日 16時00分 25日02時頃から山頂付近で火山性地震が増加し多い状態で推移、その後次第に減少。傾斜変動は、25日01時頃から山頂方向上がりで06時頃から停滞し、27日02時頃から山頂方向上りの山体浅部の膨張を示す変動がみられる。山頂付近の噴煙等に特段の変化はない。GNSS観測では山頂付近で緩やかな膨張を示す変化が継続。火山活動が高まっている。想定火口域から概ね1km範囲に影響する噴火の可能性がある。	
霧島山 (新燃岳)	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、火口周辺規制)	解説情報 第1～5号	2日、9日、16日 16時00分 23日 16時10分 30日 16時00分 9月8日以降噴火はない。火山ガス(二酸化硫黄)放出量は400[t/日](21日)でやや多い。火口直下の火山性地震は増減を繰り返し概ね少ない。火山性微動はない。GNSS観測で霧島山を挟む一部の基線で、2025年3月頃から深部の膨張を示すわずかな伸びが認められる。新燃岳付近の膨張を示すと考えられる基線の伸びは、7月以降は認められない。火山活動が高まった状態が継続。引き続き噴火の可能性ある。	
薩摩硫黄島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、火口周辺規制)	解説情報 第1～5号	2日、9日、16日、23日、30日 16時00分 白色の噴煙と夜間に高感度カメラで火映を観測。火山性地震は少ない。長期的に熱活動や噴煙活動が高まった状態。火口周辺に影響する噴火の可能性あり。	
諏訪之瀬島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、火口周辺規制)	解説情報 第1～5号	2日、9日、16日、23日、30日 16時00分 御岳火口で噴火活動継続。噴火、爆発なし、噴煙、大きな噴石の飛散、火映の状況。火口付近浅部の火山性地震は少ない。島の西側の地震は少ないが最大震度1を観測。中長期的には2024年10月頃から島の周辺で地震活動が高まっている。火山性微動は主に噴火に伴って発生した他、断続的。GNSSで2024年10月以降みられた島の西側のマグマ蓄積量増加を示す変動は、11月頃から停滞。長期に噴火活動が継続し御岳火口周辺で大きな噴石飛散の可能性ある。	
		降灰予報(速報)	(今期間発表なし)	噴火発生から1時間以内に予想される、降灰量分布や小さな噴石の落下範囲。
		降灰予報(詳細)	(今期間発表なし)	噴火発生から6時間先まで(1時間ごと)に予想される降灰量分布、降灰開始時刻。
霧島山	噴火予報 (噴火警戒レベル1、活火山であることに留意)	解説情報 第1号	17日 19時40分 17日17時37分頃、大浪池の南西3km付近の浅いところで地震が発生し、霧島山付近で体を感じる揺れがあった。最大震度3。火山活動に特段の変化はない。	

注1) 表中、解説情報とは「火山の状況に関する解説情報」のことである。

注2) 雌阿寒岳、岩手山、草津白根山(白根山(湯釜付近))、浅間山、焼岳、霧島山(新燃岳)、桜島、薩摩硫黄島、諏訪之瀬島においては、噴火警報を発表している間、毎日02時から3時間毎に8回降灰予報(定時)を発表している。焼岳は25日08時に開始した。